

弁財天 石楠花まつり

5月3日～5日

弁財天石楠花の丘において、地元実行委員会による「石楠花まつり」が開催されました。

例年より1週間から10日ほど開花が早く、石楠花まつり当日には満開は過ぎていましたが、1万株の石楠花のうち、遅咲きの“日本石楠花”を楽しませていました。

日本石楠花は、蕾の濃いピンクと花びらの淡いグラデーションが美しく、今年の開花期間中には2千人以上の方が当地を訪れました。

毎年催されていた和太鼓や吹奏楽などの賑やかな舞台イベントはなく、模擬店のみ開催されましたが、静かでのどかな雰囲気の中で花を楽しんでおられました。



榛原西幼 おはなし隊来園

5月9日

子どもたちが本と親しむきっかけを作るため、おはなしを届ける「本と遊ぼう 全国訪問おはなし隊」が榛原西幼稚園に来園してくれました。

このお話し隊は、講談社90周年記念事業として、キャラバンカーにたくさんのおもしろい絵本を載せて全国を巡回しています。当日はおはなし隊による、おはなし会（紙芝居と絵本の読み聞かせ）や、キャラバンカーに積載された絵本を車内で読むことができました。

子どもたちは、目をキラキラ輝かせ、たくさんの絵本と出会えた1日になりました。



鳥見山 つつじ祭り

5月6日

鳥見山公園において、宇陀市観光協会主催による「鳥見山つつじ祭り」が開催されました。

昨年10月21日の台風に伴う災害により、長らく登山道が通行禁止となっていました。この度一部の通行止めが解除になり、祭りが開催されることになりました。

当日は天候に恵まれ、高見市長や関係者が、山開きと鳥見山を訪れるハイカーの安全祈願を行う神事を行った後、NPO法人日本蜜蜂の会の植平理事長から、つつじの名所として、子どもたちに引き継ぐため寄贈いただいた、つつじの苗の記念植樹を行いました。

この後、和太鼓「榛」の皆さんによる勇壮な演奏やシンガーソングライターの真依子さんによる「宇陀市記 紀テーマソング」の演奏もあり、来場された方々は、例年よりも早く咲いた美しいつつじの花を眺めながら、初夏の一日を楽しんでいました。



図書館の職員さんに
聞いてみよう!

本のはなし

話題の
新刊本!



家で生まれて家で死ぬ
矢島床子、新田國夫、佐藤有里、三砂ちづる 著
出版：ミツイパブリッシング

「家で生まれて、家で死ぬ」という、ゆたかな生と死は取り戻せるのか？日本を代表する在宅医療の専門医と、開業助産師、がん患者家族らが語り尽くす。2016年12月開催のシンポジウムの記録に加筆修正。

(中央図書館所蔵)



ようこそ! 花のレストラン
～植物たちの声を聞く
たえこ先生のわ! 観察記～

多田多恵子 写真・文
出版：少年写真新聞社

花のごちそうは、みつと花粉。それに虫が支払う代金は花粉の輸送です。あまい香りのするレストラン、羽音のひびくレストラン…。花と虫の関係を、「レストラン」と「お客」にたとえて紹介します。見返しに索引等あり。

(中央図書館所蔵)

図書館からの まめ知識

Vol.51

6月と言えば梅雨。そして、梅雨の時期と言えば、梅仕事の時期。梅雨の語源は一説には梅の実が熟する頃に降る雨とも言われています。

皆さんは、梅仕事という言葉を知っていますか？梅仕事とは「6月頃、その年に実った梅の実を使って梅酒や梅干を作ること」だそうです。季節感あふれる、昔ながらの言葉ですね。暮らしの中で、季節を感じることが減ってきたこの頃だからこそ、一年に一度しか出会えない6月ならではの楽しみ“梅仕事”。街にはきれいな青梅や、南高梅、梅を漬けるためのグッズがここぞとばかりに顔を出しています。「ていねいな暮らし」に憧れる人は梅仕事にいそむとされているとか・・・

梅雨の晴れ間、宇陀の自然を満喫しながら、今年こそ梅仕事にデビューしてみませんか。図書館の資料がお手伝いいたします。

おはなし会やその他のお知らせは P24

大宇陀 春日神社の “神饌タケノコ”

5月1日

重要伝統的建造物群保存地区「宇陀松山」にある春日神社では、氏子が高齢化や過疎化で減少し、神社の維持管理や祭りの運営等が困難となり、何かできないかと、氏子の有志が思案し、境内で採れるタケノコを販売しました。

氏子の有志数名が、境内の裏山の手入れも兼ねて、タケノコを採り、あく抜き真空パックし「神饌タケノコ」と名付け、4月末から5月初めの3日間、道の駅宇陀路大宇陀で限定販売しました。

発起人の一人、清水さんは「春日神社を氏子の力で守るため、今年は試験的に行いました。来年から本格的に販売していきたい」と話されました。



吹奏楽フェスティバル

4月30日

文化会館において「第2回宇陀市吹奏楽フェスティバル」が開催されました。

このフェスティバルは、市内中学校、高等学校の吹奏楽部と、昨年12月に結成し1月から活動をはじめた宇陀市市民吹奏楽団がそれぞれ工夫を凝らした特色のある演奏を行いました。

ゲストに、曾爾中学校音楽部と大人のグループ「ほら吹き隊」の合同バンドと、奈良県警察音楽隊を迎え、エンディングでは総勢120人の合同演奏で「風になりたい」「ふるさと」を演奏し、会場の500人を超える観客と一緒に音楽を楽しみ、会場全体が一体となった感動のフィナーレとなりました。

